

議論のとりまとめについて

円山川流域委員会の進め方（図3.1参照）では、情報の共有化の最終段階において、次の議論を進める基盤とするために、円山川の望ましい姿、円山川のあるべき姿などについて議論を行うとされています。

この議論のまとめ方について委員会の中で意見が取り交わされ、委員長より、提言としてまとめられればよいが、それを前提にすると委員の負担が大きくなる可能性もあり、議論の整理の段階まででも良いと考えているとの見解が示されています。

この議論のとりまとめについて、ヒアリング時に各委員に意見を伺いました。主な意見は、以下の通りです。

ヒアリング時の主な意見

- ・ 提言としてまとめられればよいが、それを前提にすると委員の負担が大きくなる可能性もあり、議論の整理の段階まででも良いと考えている委員長の考えに賛同する。
- ・ 委員が興味を示す重要課題や課題に対する要望が強い時は、自然に提言までの議論に発展すると思う。必然性に任せたほうが良い。
- ・ 整備計画は実効性のあるものが必要であると考えている。但馬でしかできないものをきっちりと詠い、提言まで行いたい。

（議論）

ヒアリング時の意見をもとに、「円山川のあるべき姿、望ましい円山川の姿についての議論のとりまとめ」について、審議願います。